

令和3年度「一市町村民会議一運動」活動紹介

瑞浪市青少年育成市民会議

「主張大会」で堂々と発表

昨年度の瑞浪市主張大会は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、実施日を延期して中学生の部のみを録画審査として実施しました。

今年度の第42回瑞浪市主張大会は、小学生の部・中学生の部・高校生の部を開催することができました。例年のように多くの聴衆を会場に入れての大会にはできませんでしたが、感染防止を徹底し聴衆の人数を制限した上で、高校生による司会進行で順調に進めることができました。

参加した聴衆の方々からは、次のような感想をいただきました。

- ・ハキハキした話し方ですごく聞きやすく、子どもが思っていることや考えたことがすごく伝わってきてよかったです。
- ・子どもたちがこんなに社会のことに目を向けているんだと思えたこと、明るい未来を見据えていることが伝わってきたので、胸がいっぱいになりました。
- ・子どもたちの豊かな感性、しっかりした考え、そして聞く者を引き付ける話し方、年齢を追うごとに感ずる成長、子どもって素晴らしいなど改めて認識しました。
- ・子どもたちの主張を通して、自分自身深く考えていなかった社会的問題について知ることができました。子どもたちの主張の中に、彼らの感性や意思があり、これからの将来が楽しみになるような可能性を感じました。
- ・どれも素晴らしい発表でよかったです。皆で作る主張大会だと感じました。たくさんの方に見ていただきたいと思いました。
- ・高校生が司会進行でかかわることは素敵です。発表者の間が短くて進行がスムーズで聞きやすかったです。
- ・高校生に活躍の場があることは素晴らしいと思います。彼女たちにとってもとてもよい経験になったと思います。
- ・コロナの中でも感染対策をしっかりして、この大会を開催してくださって本当にありがとうございました。人数の制限などがあっても主張大会が行われてよかったです。



【体験をもとに想いを語る】



【高校生が司会進行を担う】



コロナ禍のなかでも主張内容は多岐にわたり、自分の日常生活や体験、社会との関わりをもとに自分自身を見つめ、今後自分がどのように地域社会や家族と関わっていきたいか、どのような生き方をしていきたいか等、将来への願いや夢を明らかにして力強く主張しており、瑞浪市の明るい未来が見えるようでした。

瑞浪市主張大会の目的は、「青少年の健全育成」と「生涯学習の推進」の2点ですが、正にこの2つの目的が着実に実践されていると感じる時間でした。

また、会場にいる誰もが、発表者の着眼点の素晴らしさや発想の鋭さに触れ、将来への力強い宣言を聞くことで、今の自分自身をみつめ青少年から力をもらう時間にもなっていると感じました。

来年こそは、新型コロナウイルス感染症によるコロナ禍が終息し、小学生、中学生、高校生そして一般市民の代表者が再び多くの聴衆の前に立ち、堂々と発表できる大会になることを願っています。